

世にこゆるねがひはむねの蓮にてたのむよりこそ又むかふらめ

〔時慶卿記〕慶長九年七月十一日昭高院殿新殿ニテ連歌初而御興行也。○申下刻ニ満酒數盃又

外ノ池ノ蓮ノ邊ニテ進酒。蓮葉飯アリ。陽明ハ早御立也。廣橋ト予則御跡ニ立步行ニテ歸京候。

〔御湯殿の上の日記〕慶長九年七月十五日ながはしよりあしたの物に、御はすのく御。御てうしひ

さげらる。女院の御所よりはすのく御參る。

〔武江産物志〕遊觀蓮 不忍池 六月中より 赤阪溜池 池の妙恩寺 下谷 向島白鳥の池 増上

寺赤羽橋内

睡蓮 〔大和本草〕水草 睡蓮 ヒツジグサハ京都ノ方言ナリ此花ヒツジノ時ヨリツボム苳菜ノ葉ニ似

タリ西陽雜俎及本草綱目萍蓬草ノ下ニ唐ノ段公路北戸録ヲ引ケリ夏秋花サク花白クシテ數

重ナリ蓮ニ似小ナリ其葉如苳其花夜ハツボミテ水中ニカクル晝ハ又水面ニウカブ故ニ睡蓮

ト云北戸録ニ所云ト相同他花ニコトナル物也苳菜苳菜ノ類ナリ畿内江州西土處々ニ多シ他

州ニモ多シ

〔剪花翁傳〕八月開花 睡蓮 ひつじ艸花一重色白く葉黃なり開花八月中旬形鐵泉花風車などに

似たり水中に生ず葉莖ともに苳菜にも又似たり

〔武江産物志〕藥草 井ノ頭邊ノ産 睡蓮 井ノ頭池 木下川ニモ

〔新撰字鏡〕苳 苳 三同正補各反直冀荷也浦 蘋 同府隣反大洋 苳 奈女奴

〔本草和名〕十八 苳 仁語音純甄立絲苳月通名絲苳 環 苳 霜降以後至二月名環 和名奴奈波

〔倭名類聚抄〕十七 苳 野王案云苳 名沼奈波 水菜也蘇敬本草注云自三四月至七八月通名絲苳味

甜體軟霜降以後至二月名環苳味苦體澀

〔醫心方〕苳 和名奴奈波

苳

睡蓮